

# スポーツ現場実習Ⅱ

科目ナンバリング SPS-315

選択 1単位

加藤 基

## 1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。

特にこの授業では、チームスタッフ・トレーナー間、選手とのコミュニケーションが適切にとれているか、実習中リーダーシップを発揮し、学生トレーナーとしての役割を担えているかを中心に評価し、各論では検査測定と評価の実習を行う。

※2年生のスポーツ現場実習Ⅰを修得していること、春休みに開催される報告会への参加を単位認定の条件とする。

## 2. 授業の到達目標

- ・担当教員に対して、報連相が適切にできていたか(自分の意見も踏まえたうえで)
- ・現場でのトレーナー活動において、円滑に進められるようなコミュニケーションがとれていたか
- ・現場において、適切にリーダーシップを発揮できていたか
- ・トレーナー活動をするにあたり、適切な準備が行えていたか
- ・アスレティックトレーナーの役割を十分に理解し、それを全うできるよう準備ができていた

## 3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(50%) レポート(25%) 報告会発表(25%)

## 4. 教科書・参考文献

教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価』

## 5. 準備学修の内容

参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

## 6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 現場に出るための基礎知識
- 【第3回】 メディカルスタッフの役割
- 【第4回】 ATの評価の目的
- 【第5回】 ATに必要な評価
- 【第6回】 ATに必要な検査
- 【第7回】 ATに必要な測定
- 【第8回】 姿勢・アライメントの観察・計測
- 【第9回】 関節弛緩性について
- 【第10回】 関節可動域測定について
- 【第11回】 徒手筋力検査について
- 【第12回】 身体組成の測定について
- 【第13回】 補講について
- 【第14回】 走動作について
- 【第15回】 発表と総評

それぞれ現場での実習を行いながら学んでいく